

美術科

学年	学習状況と課題分析	具体的な改善策
第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果から80%以上の生徒は前向きに授業に取り組み、課題にきちんと取り組んでいると感じていることがわかったが、自分の意見や考えを発表できていないと感じている生徒が50%以上いることがわかった。作品やワークシートには自分の思いを表現することができているが、自分の表現に自信をもてない生徒は一定数いる。 ・アンケートの結果から、80%以上の生徒が授業の進度や教え方について満足していることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状が続くように、毎時間の目標の提示や教材提示装置などICTの活用などを取り入れていく。授業の進度についても生徒一人ひとりの状況をよく観察して、特にC評価の生徒に対しては、重点的に個別指導を行う。 ・自分の意見や考えを発表する機会を増やす。授業内での発言だけでなく、クロッキー帳やワークシートに自分の考えを書く機会をさらに作るとともに、作品を制作する意義などを伝え、自分の考えを表現することを意識させる。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年のアンケートの結果や授業の学習状況から、ほとんどの生徒が課題にしっかりと取り組み、主体的に表現しようとしている。しかし、自分の表現に自信をもてない生徒は一定数いる。 ・作業過程を丁寧に説明し、その時間のやるべきことの確認も伝わっている。 ・制作時間が長期に渡るので、「見通しをもって表現する」ことが苦手な生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状が続くように、毎時間の目標の提示や教材提示装置などICTの活用などを取り入れていく。生徒一人ひとりの状況をしっかりと観察し、C評価の生徒に対して個別指導で重点的に声をかける。 ・クロッキー帳やワークシートの提出だけでなく、タブレット端末を使った作品提出などを行い、今後の指導や授業に活かす。 ・「見通しをもって表現する」ために、今後の予定や制作上の注意などを毎時間伝え、計画を立てて表現できるようにする。
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年のアンケートの結果や授業の学習状況から、ほとんどの生徒が課題にしっかりと取り組み、主体的に表現しようとしている。しかし、「主題を生み出す」など発想や構想することに自信をもてない生徒が少なからずいる。 ・作業過程を丁寧に説明、その時間のやるべきことの確認も伝わっている。 ・鑑賞の授業には大変意欲的で主体的に取り組もうとする態度がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状が続くように、毎時間の目標の提示や教材提示装置などICTの活用などを取り入れていく。生徒一人ひとりの状況をしっかりと観察し、C評価の生徒に対して個別指導で重点的に声をかける。 ・ワークシートの記入方法を工夫する。イラストや言葉で自分の考えを表現できるようにする。 ・鑑賞の授業では、ICTの活用や発問の工夫などで、主体的に鑑賞できるようにする。